



WE LOVE LIFE
輝く明日を築こう日枝中
SHINE BECAUSE

のがみがわ

湖南省立日枝中学校学校だより
令和5年(2023年)3月7日①

和衷共濟(わちゆうきょうさい)

心を合わせて協力して物事を行うこと。和衷は、心の底から一つに合わせること。

文責 校長 藪下 和彦

少しずつ 春が目の前に

日中の日差しが春の訪れを感じさせたり、完全下校時刻が長くなり夕方の日暮れも1月や2月に比べると随分長くなりました。あわせて、花粉症に頭を悩まされている人も多いのではないのでしょうか。3年生にとっては、この「のがみがわ」を手にするのは、今月号が最終となります。いよいよ残り数日で、日枝中学校第40期生として義務教育課程を修了し、次のステージへ向けて学び舎を巣立っていきます。明日、明後日は、いよいよ県立高校一般選抜、実技検査があります。また、その翌日には、県立高校の合格発表です。この1週間で受験、卒業式、そして合格発表と、人生の大きな節目を迎えることとなります。ちょうど3年前、あなたたちが入学してきた日に、入学式の式辞で、私が校長として、あなたたちへ向けて次のような内容の話をしました。

入学式での話(令和2年4月8日)

一つ目は「人にやさしく」ということです。社会の中で生きていく上で、大切なことは「人との関わり」です。人との関わりの中で、大切なのは、相手を受け入れよう、理解しようとする姿勢です。「相手を認め、思いやる心「真心」と「感謝の気持ち」をもって人に接すれば、必ず思いは伝わっていきます。

二つ目は「志をもち、夢や希望に向かって、粘り強く、挑戦していく」ということです。中学生時代は、夢が根を張っていく貴重な時期です。夢をもてば目標ができ、目標ができれば計画が立ち、計画が立てば実践ができます。だからこそ、皆さん一人ひとりが夢に向かって夢中になって取り組む姿を見せてください。

その為には、何が必要となるのでしょうか。

「先入観は可能を不可能にする」という言葉は、ロサンゼルス・エンゼルスの大谷翔平選手が、高校時代の恩師から送られた今でも大事にしている言葉です。代名詞の「二刀流」をはじめ、道なき道に挑戦する大谷選手の原点となる考え方です。大谷選手は、高校時代、当初は150キロを目標としていましたが、監督からは、160キロを目指すように言われ、正直無理なんじゃないかと思っていました。でも、最初からできないと決めつけるのはやめよう。先入観を捨ててやっていくうちに、手応えを感じるようになったそうです。そして、三年生夏の県予選で、見事160キロを出しました。

三つ目は、本校玄関に今も飾られている創立三十周年時の宣言文には「日枝中学校の仲間を大切にし、みんなが誇れる学校づくりをめざします」と決意が書かれています。このことを受け、本校では学び合い学習という授業スタイルを取り入れており、自分の分かっていることは仲間に教え、苦手なこと分からないことは仲間に助けを求められる関係づくりを大切にしています。本校には外国から日本に来て間もない仲間がたくさんいることはよく知っているでしょう。言葉が分からず、日本の学校の仕組みやルールに戸惑っている仲間に、そっと寄り添いゆっくり教え合う、聞き合う優しい仲間関係ができていくのです。そうした生徒たちは学校の宝物です。このような思いやりと規律のある集団の中では「いじめ」は起こりません。「仲間を大切にできる心」みんなが安心して学校生活を送れるよう願っています。

コロナ元年と言われる年に、あなたたちと一緒にこの日枝の坂道を登ってきました。何もかもが、今まで経験したことのない世界。でも、あなたたちはそのような中でも「仲間を大切にできる心」を根本において学校生活を送ることを心がけてくれました。

いよいよ日枝中学校での学びも1週間で切りました。県立の一般入試から発表まで、卒業式を間に挟み「激動の1週間」とも言われます。仲間との最後の1週間の過ごし方を考えてみてください。

ふと目にとまりました

毎朝、僅かな時間に新聞を読む習慣があり、ふと先日目にした記事を以下に紹介します。

開花はまだ先らしいが、桜のつぼみが膨らみかけてくる頃。桜の花の芽は、前年の夏に形成され一旦休眠にはいり、冬に一定の寒さを経験すると眠りから覚めてほころびはじめる。「休眠打破」といわれるそうです。卒業式のシーズンを迎え、コロナ禍の一斉休校を新入生として経験した中高生が巣立っていく。3年前の春、入学式、始業式は何とか実施できたものの、その後、約2ヶ月間の臨時休校。部活動の自粛や修学旅行を取りやめた学校もありました。思い描いていた学校生活とはほど遠かったかもしれない。そうこうしているうちに、マスク着用を巡り、卒業式をどうするのかという記事や報道も見られるようになりました。高校の卒業式が一足先に実施され、様子を見てみるとマスクを外して式に臨んだという学校もあったようです。時の移ろいを感じます。先日は、あるご縁で高校生が書いた作文を読ませていただきました。

『3年前を復元することがゴールではない』という一文が頼もしく思えました。制約だらけの生活をむしろ糧にして、新しい道を切り開く決意のようなものを感じました。昨年や一昨年とは違った開放的な春がきているようです。

多くの方々に支えられ見守られ~更正保護女性会の皆さんからの贈り物~



さる3月3日、湖南地区更正保護女性会の皆さんが本校に来校され、卒業を間近に控えた3年生に贈り物をいただきました。

学校と更正保護女性会を結ぶ活動として毎年素敵なプレゼントをしていただいています。今年度も心温かい応援メッセージが書かれたクリアファイルを卒業生全員に頂戴しました。コロナ禍で思うような活動がお互いできない中ではありますが、地域で

常に見守る立場として、何かできることがあれば、何なりと仰ってくださいと温かいお言葉も頂戴しました。人や物といった協力や支えもありがたいことですが、何よりもこうした『心』の支えがありたく、心が温まりました。本当にありがとうございました。



1年間ありがとうございました。

新型コロナウイルス出現から3年がたちました。その間、今までの生活にはなかった新たな様式やスタイルが見え始め、「withコロナ」から「Afterコロナ」へと向かって行ってほしいと誰もが望んで止みません。国が感染症法を見直すと宣言してから我々の日常はどう変化していくのでしょうか。コロナとともに過ごした3年間。我々はそこから何を学び、次へどういかしていくのか。

新型コロナウイルス感染症により様々な場面で制約の多い中、登下校の見守りも含め、保護者の皆様には、一年間本当にお世話になりました。今までと変わりなく心温まる言葉がけや支援を続けてくださいましたことに、心より感謝申し上げます。収束の兆しに期待を寄せながらではありますが、次年度も引き続き子どもたちの見守りやご支援をよろしく願いたします。

ONE HEART ONE TEAM



輝く明日を築こう日枝中

のがみがわ

湖南省立日枝中学校学校だより
令和5年(2023年)3月7日②

和衷共濟(わちゆうきょうさい)

心を合わせて協力して物事を行うこと。和衷は、心の底から一つに合わせること。

文責 校長 藪下 和彦

人権・命について考える

3年

3年生人権学習「部落差別問題」から自分の生き方を考える

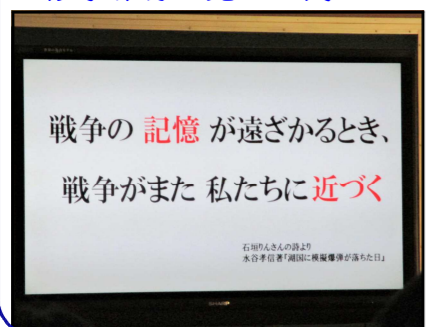


さる2月21日(火)、講師に松村智広さんを迎え人権学習を実施しました。講師の松村さんにお越しいただくのは、今年で10年目を迎えました。これまで積み上げてきた人権学習のまとめとして、ご自身の体験や教員としての思いを話していただきました。松村さんは明るい人柄と面白い語り口で生徒たちを引きつけつつ、「差別をする人は常に相手に原因と責任を求めるような生き方をしていること」「差別をなくすために正しいことを知ってほしいこと」「人権学習は自分のためにするものであり、自分の人間としての生き方を取り戻していくことにつながる」ということを熱く語っていただきました。



2年

「修学旅行で見た聞きたい！」 平和学習(修学旅行事前学習)



「戦争の記憶が遠ざかるとき、また一步、戦争が私たちに近づく」講師で来ていただいた滋賀県平和祈念館の上田智史さんの、学習のまとめに述べられたこの言葉が印象に残ります。第2次世界大戦とされる、先の戦争では滋賀県でも大きな被害があり、人々の生活が恐々としたものになりました。その語り部となる当時の方もどんどん少なくなる今日、戦争を風化させないための生徒たちの学習も大切になってきます。この4月には原爆跡が残る広島を訪れます。有意義な学習となるよう準備をしています。

平和への願いと祈り ☆☆☆5. 6. 7. 8組の生徒の作品です☆☆☆

右の写真は職員玄関入り口、生徒昇降口から続く中央階段踊り場へ展示されている作品です。5. 6. 7. 8組の生徒のみなさんが作品を製作してくれました。折り鶴は日本の伝統的な文化である折り紙のひとつですが、今日では平和のシンボルと考えられ、多くの国々で平和を願って折られています。このように折り鶴が平和と結びつけて考えられるようになったのは、被爆から10年後に白血病で亡くなられた少女、佐々木禎子さんが大きく関わっているとされています。2年生の皆さんは、来月末に予定されている、広島・神戸への修学旅行に向けて、すでに準備が着々と進められていることと思います。平和への願いと祈り、何気ない普段の生活にもきちんと目を向けていきたいものですね。



生徒会の取組

◆ちよボラ活動について◆

日枝中学校恒例の「ちよボラ」活動が3月初旬に実施されました。今回は、体育館の床拭きと靴入れの掃除に励んでくれました。昼休みの時間帯の活動ではありましたが、参加した生徒は雑巾、モップでそれぞれの持ち場を一生懸命きれいにしてくれました。

体育の授業はもちろん、部活動や集会、講演、始業式、終業式、そして、これから大きな行事を迎えることになる卒業式と入学式。きれいな会場で無事に立派な式を迎えられるようにと、ちよボラ活動に励んでくれる多くの姿がありました。ありがとうございました。



地域学校協働活動推進事業功労者表彰に本校関係の2名の皆さん

本校はコミュニティスクールとして6年目を迎えています。陰に陽にたくさんの地域の皆さんに教育活動に関わっていただいています。授業でのゲストティーチャーとしてだけでなく、個別の学習支援にも、また環境整備にも...。今回、本校に縁のある2名の方に湖南省より功労者として表彰を受けていただきました。

細居禎浩さんには、学校評議員や学校運営協議会の理事として本校の学校運営についてのご意見、ご助言をいただきまして、3期6年を務めていただき現在は理事長として、さらにはふと立ち寄っていただき、本校植栽物の手入れにご尽力いただいています。



梶原節子さんには、生徒たちの学習支援でお世話になっていきます。もう何年もの間ご来校いただき、「日本語教室」で外国籍生徒の学習支援にあたってくださっています。漢字や作文の添削を通して穏やかな表情で生徒たちと関わってくださっています。

ご支援ご協力に本当に感謝申し上げます。今後ともよろしくお願いします。

☆☆☆ご支援に大きな感謝を込めて☆☆☆

□今後のおもな予定について□

【3月】

- 8(水) 県立一般選抜
- 9(木) 県立一般選抜(実技検査)
- 14(火) 第40回卒業式
- 15(水) 県立一般選抜発表
- 22(水) 県立二次選抜・追検査
- 23(木) 期末保護者会
- 24(金) 修了式・県立二次選抜
および追検査発表
- 26(日) 吹奏楽部定期演奏会

【4月】

- 10(月) 1学期始業式・入学式
- 11(火) 3年身体測定
- 12(水) 3年実力テスト・1.2年身体測定
- 13(木) 3年校医検診
- 18(火) 全国学力・学習状況調査
- 19(水)~21(金) 3年修学旅行

